

国語科単元構想シート

第4学年 組() 名) 授業者

単元名「話そう・聞こう・感じよう!ブックミーティング」全12時間

教材名「ごんぎつね」(光村図書4年下)

単元目標 (単元で育成を目指す 資質・能力)	○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能](1)オ
◎…指導の重点	◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。 [思考力、判断力、表現力等]C(1)カ ○言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 ((1)オ)	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(C(1)カ)	学習の見通しをもって、読んで考えたことを話し合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに積極的に気付こうとしている。

単元で取り上げる言語活動
ブックミーティング(読書座談会)を通して、物語を読んで感じたことや考えたことを友達と共有する。

単元の流れ	「読み解く力」の視点を踏まえた、児童の学ぶ姿		指導の手立て	
★「主体的に学習に取り組む態度」を評価する時間	「読み解く力」の視点を踏まえた、児童の学ぶ姿		「個別最適な学び」【個】・「協働的な学び」【協】	
①学習のゴールを共有し、学習の見通しをもつ。 ②ブックトークを聞き、新美南吉について知る。 ③「ごんぎつね」を読み、感想を紹介し合う。 ④「ごんぎつね」を読み、気になることや疑問に感じたところを見つける。 ⑤ブックミーティングに向けて、自分の考えを整理し、話し合いたいことを考える。 ⑥ブックミーティング(第1回読書座談会)を行い、物語を読んで考えたことを話し合う。★ ⑦ブックミーティング(第2回読書座談会)を行い、物語を読んで考えたことを話し合う。★ ⑧並行読書材を読み、お気に入りの1冊を決める。 ⑨物語の中から気になることや疑問に感じたところを見つける。 ⑩ブックミーティングに向けて、自分の考えを整理し、話し合いたいことを考える。 ⑪ブックミーティング(第3回読書座談会)を行い、物語を読んで考えたことを話し合う。★ ⑫ブックミーティング(第4回読書座談会)を行い、物語を読んで考えたことを話し合い、学習のまとめと振り返りをする。★	A 主に文章や図、グラフから読み解き理解する力	必要な情報を確かに取り出す【①発見・蓄積】 物語を読んで、疑問点を見つけ、みんなで話し合いたいことを考えている。	B 主に他者とのやりとりから読み解き理解する力	
		情報を比較し、関連付けて整理する【②分析・整理】 物語を読んで見つけた、気になることや疑問点について、叙述を基にしたたり、場面の様子を結びつけたりして、自分なりの考えをもっている。		ブックミーティングを通して、友だちの考えや、考えの根拠を理解している。 ブックミーティングを通して、自分と友達の考えの共通点や相違点に気付いている。
		自分なりに解決し、知識を再構築する【③再構築】 物語を読んで見つけた、気になることや疑問点について、自分なりの考えを、根拠を示しながら伝えている。		友達とのやりとりから、物語を読んで見つけた、気になることや疑問点について、自分と友達の考えを比べ、感じ方に違いがあることよさに気付いている。
・新美南吉の作品を、並行読書材として用意し、並行読書マトリックスを活用する。【個】 ・並行読書マトリックスは、常時、児童が見られるように掲示しておき、目的に応じて交流相手を選べるようにする。【個・協】 ・司書によるブックトークや教師による読み聞かせを行い、並行読書材の本にふれる機会を設ける。【個】 ・学級の中で人気があった4～5冊を選び、その中からブックミーティングの題材とする本を選ぶ。【個・協】 ・ブックミーティングでは、同じ本を選んだ児童同士でグルーピングする。【協】 ・「ごんぎつね」の全文を掲示し、全文を捉えて内容を読み取れるようにする。【個・協】 ・指導者が作成したブックミーティングのモデル動画を用意し、タブレットでいつでも見返すことができるようにする。【個】 ・振り返りシートを活用し、本時の学習の振り返りと次時の課題を書けるようにする。【個】 ・学習計画、学習の足跡を掲示し、児童が必要に応じて振り返ることができるようにする。【個・協】				